

2 年学年通信

平成30年1月29日(月)

文責 柳原 隆史

職場体験を終えて

24日からの職場体験が終了しました。

私が訪ねた事業所では職場体験が始まる前、みんなに求めた『一生懸命』の姿勢を実行している様子を見ることができて、とても頼もしく感じました。仕事の隙間をぬって、何人かの生徒に職場体験の感想を求めたときも

「学校に帰らず、もうしばらくここでいろんなことを学びたい」

「仕事の内容は想像していたけれど、他にもすることがあるってことを知ることができました。とても大切なことを勉強しています」

といった感想を聞くことができました。

事業所の方々からも「いきいきと頑張ってくれている様子を見ると、こちらも受け入れてほんとうによかったと思います。」とおっしゃっていただきました。

みなさんはどのような日々を過ごしたのでしょうか？



職場体験を思い出してください。どれもが初めての経験で、うまくいったことやうまくいかなかったこともあったでしょうし、ほめられたり、しかられたりもしたとおもいます。そのたびに喜んだり、悔しかったりいろんな思いをしたはずです。

これから2時間の時間をかけて事業所ごとに集まってふり返しを行ないます、その後、1時間かけて振り返って感じたり考えたりしたことを互いに交流を行ないます。

実は、この時間が職場体験学習で非常に大切な時間なのです。

なぜ、うまくできたのか。どうして失敗してしまったのか。どうすればできるのか。自分にはどのようなことができ、どのような力がないのか。そしてこれからどんな力をつけなくてはいけないのか。

そして、どうして、事業所の方々には職場体験で中学生を受け入れてくれたんだろう。

この3時間を丁寧にキチンと取組むことが、そのすべての経験や思いを振り返ることが、君たちを一步步成長させるのです。また、その成長がお世話になった事業所の方がたへの何よりのお返しではないでしょうか。

